

# 公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学の評価の流れ

第 1 回委員会

第 2 回委員会

## 評価委員会

作成

作成

資料 2-1

資料 2-2

参考資料 2

### 業務実績報告書

【小項目評価：法人による自己点検・評価】

年度計画	実施状況	評価	検証
アドミッション・ポリシーに沿った【略】大学の知名度の向上を図る。	≈	A	
入試委員会において【略】積極的に行う。	≈	S	
入学者選抜の【略】、必要に応じて改善を図る。	≈	A	
<活動目標> 入学定員充足率 100%	入学定員充足率 190%	SS	

実施状況と自己評価(参考1)を法人が記載

### 業務実績報告書の検証

【小項目評価：評価委員会による検証】

年度計画	実施状況	評価	検証
アドミッション・ポリシーに沿った【略】大学の知名度の向上を図る。	~	A	S
入試委員会において【略】積極的に行う。	~	S	A
入学者選抜の【略】、必要に応じて改善を図る。	~	A	A
<活動目標> 入学定員充足率 100%	入学定員充足率 190%	SS	SS

評価委員会が検証委員会として評価

ヒアリング

### 評価結果(案)の策定

【項目別評価】  
以下の、4項目ごとに、中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況(参考2)を示す。

1 教育研究 ⇒ 〔Ⅱ〕 順調に進んでいる

項目別	SS	S	A	B	C
教育	1	1	5	1	0
研究	0	1	10	0	0
地域貢献	0	1	4	0	0

2 法人経営 ⇒ 〔Ⅱ〕

3 自己点検・評価 ⇒ 〔Ⅲ〕

4 その他業務運営 ⇒ 〔Ⅱ〕

活動目標は、他の小項目と分けて記載

活動目標	目標	達成状況	評価
入学定員充足率	100%	190%	SS
論文数	3	3	A

集計

【全体評価】

項目別評価の結果等を踏まえ、法人の特性に配慮して中期計画の進捗状況全体について、記述式により評価。

全体評価 「順調に進んでいる」

	I	II	III	IV	V
教育研究	I	II	III	IV	V
法人経営	I	II	III	IV	V
自己点検	I	II	III	IV	V
業務運営	I	II	III	IV	V

成果目標	目標	達成状況
学位取得者数	50	19

成果目標は、別に記載

## 公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学

意見聴取

意見申立

参考 1 【評価要領 別表 1 小項目評価】

評価	評語
SS	計画を大幅に上回って実施している。
S	計画を上回って実施している。
A	計画を順調に実施している。
B	計画を十分には実施していない。
C	業務の大幅な見直し等が必要

参考 2 【評価要領 別表 2 項目別評価】

評価	評語
I	中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
II	中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
III	中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
IV	中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。
V	中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある。

# 公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学

## 令和3事業年度に係る事業の実績に関する評価結果

### (記載イメージ)

下線部 : 評価に応じた記載となる部分

令和4年8月

公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学評価委員会

## 第1 公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学評価の令和3事業年度における業務実績評価について

公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学評価委員会は、「公立大学法人静岡社会健康医学大学院に係る評価基本方針」（R3.8.3 制定）に基づき、令和3事業年度の業務の実績に関する評価を行った。

### 1 評価に当たっての基本的な考え方

- (1) 評価を通じて、大学の教育研究及び法人運営の進捗状況等を分かりやすく示し、県民への説明責任を果たしていくものとする。
- (2) 法人の教育研究並びに組織及び運営についての様々な工夫や特色ある取組を積極的に評価するものとする。
- (3) 次期中期目標・中期計画、法人の組織及び業務運営の見直しの検討に資するものとする。

### 2 評価方法

- (1) 年度評価は、「全体評価」と「項目別評価」により行った。
- (2) 「全体評価」は、(3)の項目別評価を踏まえるとともに、当該年度の重点的な取組や法人の特性等に配慮しつつ、中期目標・中期計画の全体的な進捗状況を総合的に判断した。
- (3) 「項目別評価」は、法人による自己点検・評価の結果及び活動目標を基に、当該年度計画に定めた項目ごと、年度計画設定の妥当性も含めて総合的に検証を行い、中期目標・中期計画の達成に向けた進捗状況を確認した上で、「大学の教育研究等の質の向上に関する目標」、「法人の経営に関する目標」、「自己点検・評価及び情報の提供に関する目標」及び「その他業務運営に関する重要目標」の4つの目標別に総合的に検証した。

## 第2 全体評価

### 1 評価結果と判断理由

#### (1) 評価結果

公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学（以下「法人」という。）の令和3年度の業務実績に関しては、全体として「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と評価する。

#### (2) 判断理由

法人は、静岡社会健康医学大学院大学が、社会健康医学の視点を取り入れ、これまでの健康長寿の取組を体系化し、健康寿命の延伸に資する先端的な施策や研究などに取り組むことにより、得られた成果や知見を的確に県民の生活に反映させることを目的に、社会健康医学の「知と人材の拠点」となることを目指して計画を策定し、遂行している。

初年度である令和3年度は、中期計画及び年度計画に基づき数々の目標に取り組み、一部については成果を挙げるとともに、次年度以降に具体的な成果を出すための下地づくりに取り組んでいる。

法人の中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況については、「第3項目別評価」のとおり、「大学の教育研究等の質の向上に関する目標」、「法人の経営に関する目標」、「自己点検・評価及び情報の提供に関する目標」、「その他業務運営に関する重要目標」の4項目について「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と認められる。

これらの状況と令和3年度の重点的な取組や法人の特性等を総合的に勘案し、(1)のとおりの評価が相当と判断した。

#### (3) 令和3年度の重点的な取組

##### ア 授業アンケートを活用した授業改善

新設の大学院大学であり授業に関するノウハウの蓄積が乏しいこと、主として社会人学生を対象にしていること、オンライン（同時双方向）/オンデマンド（動画配信）型授業を併用していること及び金曜日と土曜日に集中して開講していることなど他大学とは異なる特性を持つことから、学生に積極的に授業評価を依頼し、授業の実施方法等についての課題の抽出と改善策の立案に活用した。(No.1)

イ 学生との懇談会を通じた教育研究に対する意見集約と改善

本学の特性に起因する課題について、学生から意見を集約し改善を図るため、全ての学生と教員が参加する学生教員懇談会を開催した。(No. 1)

ウ 博士課程、遺伝カウンセラー養成コース、聴覚・言語コースの設置検討

博士課程の新設、遺伝カウンセラー養成コース（修士課程）、聴覚・言語コース（修士課程）の設置に向けた検討、準備を進めた。(No. 2、7)

エ 様々な機会での多様な募集活動による入学志願者の確保

安定的に入学者を確保すべく、病院、大学等の個別訪問やオンライン説明会、オープンキャンパス等を行った。(No. 4)

2 評価に当たっての意見、指摘等

- ・ 法人化初年度であり、評価の基準を確立していくには時間が掛かると考えられるが、これからも県民の理解が得られるような評価のあり方を考えていく必要がある。
- ・ 法人がこの評価結果を大学運営の活性化、効率化のために積極的に活用して、教育研究の一層の充実を図ることで中期目標を達成されることを期待する。

〔参考〕項目別評価の結果

1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標	I 特筆すべき 進捗状況	<u>II</u> <u>順調に</u> <u>進んでいる</u>	III おおむね順調 に進んでいる	IV やや 遅れている	V 重大な改善 事項がある
2 法人の経営に関する目標	I 特筆すべき 進捗状況	<u>II</u> <u>順調に</u> <u>進んでいる</u>	III おおむね順調 に進んでいる	IV やや 遅れている	V 重大な改善 事項がある
3 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標	I 特筆すべき 進捗状況	<u>II</u> <u>順調に</u> <u>進んでいる</u>	III おおむね順調 に進んでいる	IV やや 遅れている	V 重大な改善 事項がある
4 その他業務運営に関する重要目標	I 特筆すべき 進捗状況	<u>II</u> <u>順調に</u> <u>進んでいる</u>	III おおむね順調 に進んでいる	IV やや 遅れている	V 重大な改善 事項がある

〔参考〕成果目標一覧

目標	目標	実績
学位取得者の輩出	50名（期間累計）	—

### 第3 項目別評価

#### I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

##### 1 評価結果と判断理由

###### (1) 評価結果

大学の教育研究等の質の向上に関する目標の進捗状況は、「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と評価する。

###### (2) 判断理由

大学の教育研究等の質の向上に関する目標について、当評価委員会が検証した結果、年度計画記載の 46 項目中 46 項目が「計画を順調に実施している」と認められた。また、活動目標は、8 目標中 1 目標が「計画を大幅に上回って実施している」、1 目標が「計画を上回って実施している」、6 目標が「計画を順調に実施している」と認められた。

これらの状況等を総合的に勘案し、(1)のとおりの評価に相当すると判断した。

###### (3) 特に評価する項目

- ・中期目標期間において 50 人の学位取得者を輩出するため、入学定員を上回る入学者を確保した (No. 6)
- ・社会健康医学研究により得られた知見や成果を、行政や医療機関などと連携して社会実装する取組を推進し、国内外に積極的に情報発信した (No. 27)
- ・外部資金を活用した研究や、国内外の大学や研究機関をはじめとする産学官と連携した研究を積極的に推進した (No. 34)

##### 2 評価に当たったの意見、指摘等

特になし。

〔参考〕小項目評価の集計結果

区分	評価対象項目数	SS 計画を大幅に上回って実施している	S 計画を上回って実施している	A 計画を順調に実施している	B 計画を十分には実施していない	C 業務の大幅な見直し等が必要
1 教育	17	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>17</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
2 研究	15	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>15</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
3 成果の還元	6	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>6</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
4 国際交流	5	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>5</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
5 人材の確保	3	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>3</u>	<u>0</u>	<u>0</u>

〔参考〕活動目標一覧

区分	活動目標	目標	実績	評価
1 教育	入学定員充足率	100%（期間平均） 100%（年度）	期間平均 190%（190%/1年） R3実績 190%（19人/10人）	<u>SS</u>
	教員のFD研修参加率	毎年度 100%	R3実績 100%（19人/19人）	<u>A</u>
2 研究	論文件数	120件（期間累計） 20件（年度）	期間累計 61/120件 R3実績 61/20件	<u>S</u>
	外部資金獲得件数	20件（期間累計） 3件（年度）	期間累計 10/20件 R3実績 10/3件	<u>S</u>
3 成果の還元	連携協定締結団体数	5団体（期間累計）	期間累計 2/5団体 R3実績 2団体	<u>A</u>
	研究成果の施策反映数	1件/年度（期間平均） 1件（年度）	期間平均 1.0件（1件/1年） R3実績 1/1件	<u>A</u>
	シンポジウム・公開講座の開催回数	毎年度 3回	R3実績 3/3回	<u>A</u>
4 国際交流	交流協定締結数	1件（期間累計）	期間累計 0/1件 R3実績 0件	<u>A</u>



## II 法人の経営に関する目標

### 1 評価結果と判断理由

#### (1) 評価結果

法人の経営に関する目標の進捗状況は、「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と評価する。

#### (2) 判断理由

法人の経営に関する目標について、当評価委員会が検証した結果、年度計画記載の 11 項目中 11 項目が「計画を順調に実施している」と認められた。また、活動目標は、2 目標中 1 目標が「計画を上回って実施している」、1 目標が「計画を順調に実施している」と認められた。

これらの状況等を総合的に勘案し、(1)のとおりの評価に相当すると判断した。

#### (3) 特に評価する項目

・競争的資金や産学民官連携による共同研究費・受託研究費などの外部資金の獲得、大学の実績を通じた寄附金の確保等、積極的に自己収入の確保に努めた (No. 66)

### 2 評価に当たっての意見、指摘等

特になし。

〔参考〕小項目評価の集計結果

区分	評価 対象 項目数	SS 計画を大幅に 上回って実施 している	S 計画を 上回って 実施している	A 計画を順調に 実施している	B 計画を十分 には実施 していない	C 業務の大幅な 見直し等が 必要
1 業務運営の 改善	8	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>8</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
2 財務内容の 改善	3	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>3</u>	<u>0</u>	<u>0</u>

〔参考〕活動目標一覧

区分	活動目標	目標	実績	評価
1 業務運営の改善	職員のSD研修参加率	毎年度 100%	R 3 実績 100%(17人/17人)	<u>A</u>
2 財務内容の改善	外部資金獲得件数【再掲】	20件(期間累計) 3件(年度)	期間累計 10/20件 R 3 実績 10/3件	<u>S</u>

### Ⅲ 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

#### 1 評価結果と判断理由

##### (1) 評価結果

自己点検・評価及び情報の提供に関する目標の進捗状況は、「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と評価する。

##### (2) 判断理由

自己点検・評価及び情報の提供に関する目標について、当評価委員会が検証した結果、年度計画記載の 3項目中3項目が「計画を順調に実施している」と認められた。

これらの状況等を総合的に勘案し、(1)のとおりの評価に相当すると判断した。

##### (3) 特に評価する項目

・大学のホームページやソーシャルネットワークサービスなどの広報媒体を活用して、教育研究活動や地域貢献活動に関する情報などを積極的に発信した (No. 70)

#### 2 評価に当たったの意見、指摘等

特になし。

#### 〔参考〕小項目評価の集計結果

区分	評価対象項目数	SS 計画を大幅に上回って実施している	S 計画を上回って実施している	A 計画を順調に実施している	B 計画を十分には実施していない	C 業務の大幅な見直し等が必要
1 評価の充実	1	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>1</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
2 情報の公開・ 広報の充実	2	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>2</u>	<u>0</u>	<u>0</u>

#### 〔参考〕活動目標一覧

なし

## IV その他業務運営に関する重要目標

### 1 評価結果と判断理由

#### (1) 評価結果

その他業務運営に関する重要目標の進捗状況は、「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と評価する。

#### (2) 判断理由

大学の教育研究等の質の向上に関する目標について、当評価委員会が検証した結果、年度計画記載の 9 項目中 9 項目が「計画を順調に実施している」と認められた。また、活動目標は、1 目標中 1 目標が「計画を順調に実施している」と認められた。

これらの状況等を総合的に勘案し、(1)のとおりの評価に相当すると判断した。

#### (3) 特に評価する項目

・労働者数が 50 人に満たない小規模な法人だが、労働者数が 50 人を超える法人に対して求められる産業医・衛生管理者の選任や衛生委員会の設置を自主的に行い、労働安全衛生環境を向上させた。(No. 72)

### 2 評価に当たったの意見、指摘等

特になし。

〔参考〕小項目評価の集計結果

区分	評価 対象 項目数	SS 計画を大幅に 上回って実施 している	S 計画を 上回って 実施している	A 計画を順調に 実施している	B 計画を十分 には実施 していない	C 業務の大幅な 見直し等が 必要
1 施設・設備 の活用・管理	1	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>1</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
2 安全管理	5	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>5</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
3 社会的責任	3	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>3</u>	<u>0</u>	<u>0</u>

〔参考〕活動目標一覧

区分	活動目標	目標	実績	評価
3 社会的責任	コンプライアンス・ハラ スメント研修実施回数	毎年度 1 回	R 3 実績 3/1 回	<u>A</u>